科目名称	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ （内部調節・運動機能障害）	学年学期	単位数	時間数
		第１学年　後期	1	30 時間
担当教員	河野　真介　鎌田　一億　角南　典生 加藤　ひとみ	授業に関わる 実務経験	■　有（　　医師　　） □　無	

【1】 授業概要

疾病により心身機能が障害されると、様々な症状を引き起こし生活に影響を及ぼす。各症状の特徴や治療法について理解し、看護実践における観察や判断の根拠とする。この科目では、運動機能・脳神経・内分泌・代謝機能の障害によっておこる症状と主な疾患・治療について学ぶ。

【2】 学習目標

1. 代表的な骨や神経の名前と局在を説明できる。
2. 代表的な運動疾患の病態、治療、看護について説明できる。
3. RICE 処置、ギプス固定の方法や松葉杖の使用方法について説明できる。

【3】 第１看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

■　1. 人間を理解し、倫理的な態度で看護を実践する力
■　2. あらゆる対象に応じた看護を実践する力
□　3. 地域の特性を看護に生かす力
□　4. 保健・医療・福祉システムにおける連携・協働できる力
■　5. 主体的に学び続ける力

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	運動器の解剖、機能（骨粗鬆症を含む）	講義
2	運動器疾患の応急処置	演習
3	代表的な運動器疾患①（外傷、スポーツ障害等）	講義
4	運動器疾患の看護	演習
5	代表的な運動器疾患②（変性疾患、腫瘍等）	講義
6	頭痛疾患	講義
7	意識レベル　頭部外傷	講義
8	脳血管疾患	講義
9	脳卒中予防	講義
10	脳腫瘍　神経変性疾患	講義
11	内分泌総論、視床下部、下垂体の疾患	講義
12	甲状腺、副甲状腺、副腎の疾患	講義
13	糖尿病	講義
14	脂質異常症、肥満、痛風	講義
15	試験・まとめ	

【5】 評価方法

授業態度、レポート、筆記試験で総合的に評価する。

【6】 教科書

田中　栄：系統看護学講座　専門分野Ⅱ　成人看護学 10　運動器（第 15 版）　医学書院　2022（電子版）
井手　隆文：系統看護学講座　専門分野Ⅱ　成人看護学 7　脳神経（第 15 版）　医学書院　2022（電子版）
黒江　ゆり子：系統医学講座　専門分野Ⅱ　成人看護学 6　内分泌・代謝（第 15 版）　医学書院　2022（電子版）

【7】 参考書

配布プリント

【8】 受講生へのメッセージ

講義の内容により、担当講師が変わります。
内部調節、運動機能障害の成り立ちと症状、疾患、治療について理解し、看護実践に際しての観察や阪大の根拠としてください。